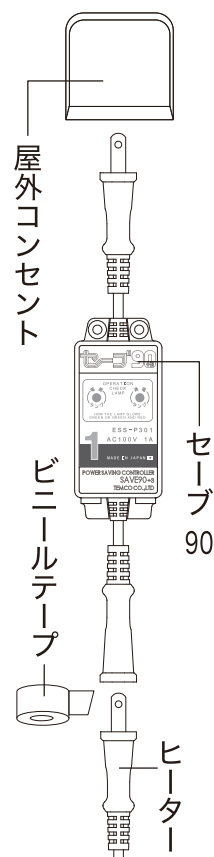


特 長

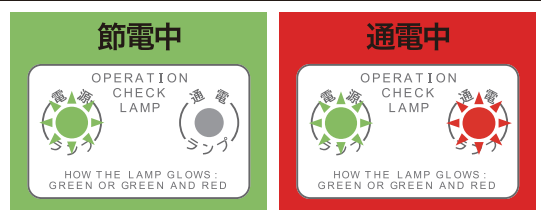
- 省エネルギーセンター会長賞を受賞した特許技術“FTC比例制御回路”の働きにより、水道凍結防止ヒーターにかかる電気代をおよそ90%節電します。
- 専門機関にも認められた“FTC比例制御回路”は、水道管温度を凍結しない最適な温度に保つ（必要以上に温めすぎない）ことでムダな電気を一切消費しません。
たとえ外気温度がマイナスであっても水道管が凍結しないと判断すれば節電状態となります。
- 新開発IHCケースと新FWR構造の相乗効果により当社従来品から節電性能が+3%向上しました。
- FWR構造の採用によって5年（当社従来品から+2年）の長期保証を実現しました。
- 節電中・通電中の動作状態がランプの点灯のしかたで簡単に確認できるようになりました。

取扱説明（取付方法）

- 右図の通り、屋外コンセントにセーブ90を差し込み、セーブ90にヒーターのコードを直接差し込んでください。
防水のためセーブ90とヒーターの接続部にビニールテープを巻いてください。
- ヒーターの故障や劣化、プラグの汚れ・サビは凍結事故を起こします。セーブ90取付前にチェッカーを使ってヒーターに異常がないか確認してください。
- 分岐コードによるタコ足配線（接続可能本数以上の接続）は水道管の凍結や火災の危険性がありますので絶対におやめください。
- セーブ90は必ずヒーターと同じ環境（基本的には屋外）に設置してください。



動作確認方法



※外気温度がマイナスであっても水道管が凍結しないと判断すれば節電状態（節電中）となります。

注意 事項

- 水道凍結防止ヒーター以外にはご使用にならないでください。
- 分岐コードによるタコ足配線（接続可能ヒーター本数以上の接続）および最大容量以上のヒーターの接続は水道管の凍結や火災の危険性がありますので絶対におやめください。
- セーブ90は必ずヒーターと同じ環境（基本的には屋外）に設置してください。
- ご使用前にヒーターの検査を行ってください。別売の“チェッカー”をお使いいただくと簡単に検査が行えます。詳しくは、チェッカーの取扱説明書またはホームページをご覧ください。
- 保温材が一部でも劣化および破損している場合は水道管凍結の原因となりますので新しいものに交換してください。
- 洗面所やトイレ、風呂場など室温が零下になる場合は屋内配管にもヒーターを施工してください。
- セーブ90は約10年を目安に交換してください。
- 裏面の保証書に必要事項をご記入のうえ保管してください。